



今年でじんぐうじまつりも第十回を迎えました。ここまで続けられたのも、当祭りを楽しみにしている皆様のお陰です。ありがとうございました。さて、今回はデザインを普天間高校美術部に協力して頂き、良いポスターになりました。ありがとうございます。この様な形で母校の後輩と関われるって素晴らしいですね。

ラジオ番組を持って

良啓



お陰様で私のラジオ番組「VOWSCAFE (ボウズカフェ)」が放送百回を超えました。(八月二十八日がちょうど百回でした。)二年前にFMぎのわんのTさんに誘われたのがきっかけでしたが、まさかここまで続けられるなんて思いもよらない事でした。また、ゲスト出演でラジオ番組に出ることはあっても、自分で番組を進行する側になる事も驚きでした。

正直に申しますと、「喋るって楽しい！」です。これまで修行や法務など人と違った経験、体験をさせて頂く機会に恵まれ、これほどの様に還元するのか悶々とした時期もありました。その答えの一つがラジオだったと気が付き、毎週火曜日が楽しみで仕方ありません。思い付いた話やニュースをネタ帳で管理していますが、増えるばかりです(笑)

また、リスナーさんから感想や意見質問が届きますが、それが一番嬉しいですね。スタジオ内は孤独です。マイクの向こうに多数の人が聴いていると思いますが、実数は分かりません。そんな不安な気持ちを持ち消してくれるのがリスナーさんのコメントです。「あー同じ気持ちなんだ」と安心したり、答えられない質問にタジタジになることもあります。聴いてくれる人がいるって、素晴らしいとつくづく感じています。

もっと真言宗の事やお坊さんの世界を広く知ってもらおうきっかけになる様に精進しますので、末永くご愛顧くださいませ。



身近にある仏教語⑨

裕俊

私達が日常的に使っている言葉の中には、仏教に関係している言葉がたくさんあります。そんな言葉を由来と共にご紹介させていただきます。

四苦八苦

慣れない仕事に四苦八苦するなど、てこずっている意味で使われている言葉ですね。四苦とは、生老病死の四つの苦の事です。生きている中では様々な苦労があり、老いていく内に身体も思い通りにならず、病を得て苦しみ、最後には必ず死が待っている不安に苦しむという事です。お釈迦様は、この四苦に出会ったことにより身分を捨て出家なされました。この四苦に、「愛別離苦」

(大切な人とも必ず別れがある事)「怨憎会苦」(嫌いな人とも会わなければならない事)「求不得苦」(欲しいものが自由に得られない事)「五蘊盛苦」(自らの体、心が思い通りにならない事)これらの苦を加えて八苦となります。

慣れない仕事に四苦八苦していても、いつかは慣れてテキパキとこなせるように、私達も四苦八苦とうまく付き合ひながら、人生を楽しんでいきたいですね。

